

# HIV感染者に対するオピオイド処方量の増加は、将来のヘロイン使用と関連

- オピオイド使用者598例（HIV感染者182例およびHIV非感染者416例）を対象とした解析では、HIV感染者に対するオピオイド処方量が将来のヘロイン使用との関連が示された。
- HIV非感染者と比較して、HIV感染者は報告されていた疼痛や睡眠障害が少なかったにもかかわらず、オピオイドの処方量が多かった。
- 追跡調査期間中、HIV感染者はHIV非感染者よりもコカインやメタンフェタミンの使用を報告した割合が有意に高かった。
- 研究全体では、オピオイド処方量が増加した患者はその後のヘロイン使用の可能性が高くなった。HIV感染者では、その可能性は3倍以上になった。